



中道 大敗、与党に3分の2超を許す。

－ 第 51 回衆議院議員総選挙 投開票 －

第 51 回衆議院議員総選挙が 8 日(日)、投開票され、全自交労連が支援した中道改革連合は公示前勢力の 167 議席から、49 議席に大きく減らす厳しい結果となった。

また立憲出身の候補者だけを見ても、小選挙区での勝利は 7 議席に留まり、比例名簿順位を公明出身の候補者を上位にしたことから、比例代表においても比例復活と比例単独候補を合わせても 14 議席となった。

これまでライドシェア問題をはじめ、ハイタク業界に関する諸課題について全自交、ハイタクフォーラムが深く関係してきた多くの衆議院の仲間を今回の選挙により国政の場から失うこととなってしまった。

一方、自民党は単独で三分の二を超える 316 議席となり、これにより参議院で法案が否決された場合に再度、衆議院で再可決することや、憲法改正の発議が可能となった。そしてライドシェア導入を公約としている維新も議席を増やし、与党勢力は354議席までになった。

労働者の視点に立った政策実現に益々困難な状況となってしまったが、どのような政局になろうともハイタク労働者の仕事・生活を守る全自交の取り組みは前進させなければならない。

この極寒の選挙戦において全国の全自交の仲間は推薦候補者の当選に向けて必死に闘った。

最後の最後まで尽力した組合員、関係者に心から感謝申し上げます。